

## 【テピアマンスリー今月の話題】2018年1月号

### ベトナム：「ハンドキャリー品」天国の終焉なるか

ベトナムには「ハンドキャリー品」という輸入品流通カテゴリーがある。正規の輸入販売品とは別に、海外の商品がハンドキャリーで持ち込まれ販売されている。欧米や日本、韓国などからのスマートフォンや化粧品、香水、洋服、靴、日用雑貨、ベビー用品、家電、健康サプリ、薬など品物は多岐に渡る。日本のものでは、ユニクロ製品、化粧品、サプリに特に人気がある。旧正月前のこの時期は、新年の贈り物用に酒類、菓子類の需要が伸びる。

ベトナム語でハン・サック・タイ (hang xach tay=ハンドキャリー品) と呼ばれるこれら商品は、販売者の海外在住の家族・知人が代理で購入後、海外とベトナムを行き来する客室乗務員（時には留学生、出張者）などの手により、飛行機搭乗時の携行品としてベトナム国内に運び込まれる。「ハンドキャリー品」販売者は、家族、友人知人のネットワークを使い、彼らにハンドキャリーを依頼、手数料の相場は商品価格の10~15%程（例えば1万円の香水なら1000~1500円程度となる）で、運び屋で小遣い稼ぎをする人も少なくない。

ハノイ市やホーチミン市の街中には「ハンドキャリー品」ショップが数多く存在する。ハノイ市内では Nguyen Son通りが有名で、ハン・サック・タイ (hang xach tay) という看板を掲げたショップが数百メートルに渡り軒を連ねる。またここ数年はFacebookなどのSNSでの販売も売れ行きを伸ばしている。中には偽物も横行しているので、信頼できる馴染みの店で購入する人が多い。

人気の「ハンドキャリー品」ではあるが、本来は、輸入品販売には税関手続き、品目毎の原産地証明や成分表記、検疫、そして国内品販売同様、営業許可届出、VAT等の納税、品質保証など所定の手続き<sup>1</sup>がある。これら手続きを行わない「ハンドキャリー品」はいわゆる「密輸品」<sup>2</sup>ということになる。税関総局によると、ここ数年、毎年数千億ドン（約十億円）の脱税を摘発し、追徴しているという。

ベトナム政府は「ハンドキャリー品」流通とSNSビジネスでの脱税取締り強化に向けて動き出している。昨年11月には、脱税のみならず食品の安全等の観点からも、「ハンドキャリー品」の取締りを強化すべく、財務省が、保健省、商工省、農業省などと一丸となり対策を打ち出すよう首相から指示が出た。

<sup>1</sup>税関法施行詳細に関するガイドライン議定 Nghị định 08/2015/NĐ-CP 第6条1項

<sup>2</sup>税関法施行詳細に関するガイドライン議定 Nghị định 08/2015/NĐ-CP 第7条C項

これを受け、前述の Nguyen Son 通りでは昨年、ハノイ市場管理支局による摘発が行われた。2017年1~9月の9か月間で19件の検査が行われ、うち18件が処分済み、2件が処分検討中だという。押収された商品価値総額1.5億ドン（約78万円）、罰金総額6000万ドン（約30万円）で、主に原産地不明の化粧品と健康サプリであった。同局はさらに、免税品目の具体的な規定の見直しを提案している。

12月には、ホーチミン市 Phu Nhuan 区税務支局も、SNS ビジネスでの脱税に対する見せしめと言えるテコ入れを行った。Facebook 上で美容クリームを販売して大儲けしていた販売者を摘発、所得税91億ドン（約4500万円）を追徴課税した。この販売者は、商品説明や美肌ケア相談などの livestream のフォロー数が常時5万6000人を超えており、直販のほかに数百の代理店経由でも販売、2016年の売上は3440億ドン（約18億円）、当局の指摘後、自主的に修正申告に応じたため、脱税とはならず、追加納税で済んだと報じられている。

ただ、これらは氷山の一角に過ぎず、特に SNS 上の取引では証拠をつかみづらいため脱税を取り締ることが難しく、違法行為を一掃するのは一筋縄ではいかないようだ。販売者側も、SNS 上に価格は表示せず、電話のみでのやりとり、支払は代金引換で取引するなど形跡を残さない、定期的に SNS アカウントを閉鎖するなど、様々な工夫を凝らしている。Nguyen Son 通りも11月の取締り後はシャッターが閉められているものの、常連客がチャイムを鳴らせばシャッターの中に通され営業しているとも言われている。「ハンドキャリー品」は正規輸入品の市場を圧迫する存在である。ベトナムで「ハンドキャリー品」天国が終わりを迎える日は来るのだろうか。

（コンサルティング事業部 飯田まどか）

## 【中国】【高速炉】実証炉の土木・建築工事がスタート、23年に完成へ

中国核工業集団有限公司は2017年12月29日、福建省霞浦県に建設を計画している高速増殖炉実証炉（出力60万kW）の土木・建築工事がスタートしたことを明らかにした（＝写真）。中国は、原子力の発展戦略を熱中性子炉—高速増殖炉—核融合炉という3段階で進める方針を堅持しており、高速炉実証炉の建設はこうした戦略を完遂するうえでキーポイントになると認識されている。実証炉プロジェクトの全体計画は2014年10月に国の承認を取得。2015年7月31日に掘削工事がスタートした。2023年に完成の予定<sup>3</sup>。同実証炉は、2017年に着工した唯一の原子力発電所となった。



出典：中国核工業集団有限公司

## 【中国】【高速炉】実証炉の据付・施工契約を締結

中国核工業二三建設有限公司は2017年12月18日、実証炉の原子炉部分の据付・施工工事契約を結んだことを明らかにした。同社は同9月22日、中国核電工程有限公司と成都晨越建設項目管理股份有限公司による入札募集書を受領。内容を詳細に検討したうえで入札書を作成し10月19日に提出していた。同社は、これまでの豊富な実績が認められたとの見解を表明した。<sup>4</sup>

<sup>3</sup> 「中国示范快堆工程土建开工 核能战略关键环节实现突破」  
(<http://www.cnnc.com.cn/cnnc/300555/300557/498742/index.html>)

<sup>4</sup> 「公司签订福建霞浦示范快堆核岛安装工程施工合同」  
(<http://www.cni23.com/include/TEXTShow.asp?caid=331&id=13049>)

## 【中国】【使用済み燃料】大型輸送容器が検収にパス

中国核工業集團有限公司は2017年12月20日、国家科学技術重大特別プロジェクトであると同時に中核集団の科学技術特別プロジェクトである「龍舟—CNSC 使用済み燃料輸送容器研究製造」プロジェクトにおいてプロトタイプ試作機が検収をパスし、ロット生産能力を備えるに至ったと発表した。中核集団は、これまで大型の使用済み燃料輸送容器は国内で製造できなかったことから、今後輸送容器に対する需要が拡大するなかで大きな意義を持つと高く評価している。輸送容器のブランド名は「龍舟」で、21体の使用済み燃料集合体を収納することができる。<sup>5</sup>

## 【中国】【原発寿命延長】秦山の7基の原発運転期間延長を承認

中国の原子力規制当局である国家核安全局は2017年12月20日、浙江省の秦山原子力発電基地にある7基のユニットの運転継続を認める通知を発布した。各原子力発電会社の申請を承認したもので、秦山1号機は2021年7月30日、秦山Ⅱ期1、2、3、4号機はそれぞれ2041年10月8日、2044年1月28日、2050年5月29日、2051年10月19日、また秦山Ⅲ期1、2号機はそれぞれ2042年7月17日、2043年3月15日まで運転許可証の有効期限が延長された。<sup>6</sup>

### 秦山原子力発電所で稼働中のユニット

発電所名	炉型	出力 (万 kW)	運転開始	運転期限
秦山1号機	PWR	31	1994年4月	2021年7月
秦山Ⅱ期1号機	PWR	65	2002年4月	2041年10月
2号機	PWR	65	2004年5月	2044年1月
3号機	PWR	66	2010年10月	2050年5月
4号機	PWR	66	2012年4月	2051年10月
秦山Ⅲ期1号機	CANDU	72.8	2002年12月	2042年7月
2号機	CANDU	72.8	2003年7月	2043年3月

<sup>5</sup> 「中核集团成功研制大型乏燃料运输容器 填补国内空白」  
(<http://www.cnnc.com.cn/cnnc/300555/300557/497945/index.html>)

<sup>6</sup> 「关于批准秦山核电基地7台核电机组运行许可证续证申请的通知」  
(<http://www.china-nea.cn/html/2017-12/39720.html>)

## 【中国】【原子力研究】2大原子力企業が原子力研究開発センター設立

中国核工業集団有限公司傘下の原子力発電持株会社である中国核能電力股份有限公司（中国核電）とエンジニアリング会社の中国核電工程有限公司は2017年12月25日、「核電技術連合研究開発センター（中心）」を設立した（＝写真）。原子力発電所の寿命期間にわたる標準化技術改良プロジェクトにかかる研究開発や標準化デジタル発電所技術をサポートする研究開発、原子力発電所寿命延長技術の支援プロジェクトの研究開発等を行う。<sup>7</sup>



出典：中国核工業集団有限公司

## 【中国】【エネルギー】太陽光の年間発電量が初めて1000億kWh突破

国家能源局が2018年1月5日発表したところによると、2017年1月から11月までの11ヵ月間の中国の太陽光発電量は前年同期比72%増の1069億kWhに達し（内訳は、集中型メガソーラー発電932億kWh、分散型太陽光発電137億kWh）、太陽光の年間発電量が初めて1000億kWhを突破した。<sup>8</sup>

2017年に太陽光発電が急増した背景や特徴が幾つかある。一つは分散型太陽光発電の急増だ。2017年1月から11月まで分散型太陽光の新規導入容量は1723万kWに達し、前年年同期比で3.7倍まで拡大した。もう一つは新規導入集中地域の移動。2017年1月から11月まで、西北部における太陽光発電の新規導入量が前年同期比で17%減少したのに対し、華東地域及び華中地域の新規導入容量はそれぞれ1325万kW、993万kW増加した。伸び率でも、それぞれ前年同期比で9%増、6%増となった。最後に「トップランナー」計画の実施

<sup>7</sup> 「打造利益共同体 中核集团成立核电技术联合研发中心」  
([www.cnnc.com.cn/cnnc/300555/300558/498211/index.html](http://www.cnnc.com.cn/cnnc/300555/300558/498211/index.html))

<sup>8</sup> 「装机量大超预期，弃光率有所下降—去年光伏发电量首超千亿千瓦时」  
([http://www.nea.gov.cn/2018-01/05/c\\_136874369.htm](http://www.nea.gov.cn/2018-01/05/c_136874369.htm))

により、太陽光発電産業の技術進歩及びコスト削減効果が期待されている。

2018年の太陽光発電に関する3つのキーワードは「貧困援助」、「トップランナー」、「分散型」だと言われている。貧困援助先の地域以外では補助金が減少しつつあるが、太陽光発電の新規導入先が全体的に中部・東部に移動し、分散型太陽光発電の新規導入がさらに活発化すると予想されている。

### 【中国】【ウラン濃縮】濃縮施設の実証プロジェクトが操業開始

中国核工業集団有限公司は2017年12月29日、傘下の中核陝西鈾（ウラン）濃縮有限公司で、新型専用設備の大型商用実証プロジェクトが成功裏に操業を開始したと発表した（=写真）。中核集団は、ウラン濃縮専用設備のアップグレードを実現し、大型の商用条件を備え国際的な先進水準に達したとしたうえで、核燃料製造の自主化能力を引き上げることになると高く評価した。<sup>9</sup>



出典：中国核工業集団有限公司

### 【中国】【電力消費】11月までの電力使用量、前年同期比で3.5%増

中国国家能源局は2017年12月15日、11月の中国全体の電力使用量が対前年比4.6%の5310億kWhになったことを明らかにした。1月から11月までの電力使用量は対前年同期比で3.5%増の5兆7331億kWh。<sup>10</sup>

<sup>9</sup> 「中核集团自主研发大型商用示范工程首批机组启动」  
(<http://www.cnnc.com.cn/cnnc/300555/300557/498754/index.html>)

<sup>10</sup> [http://www.nea.gov.cn/2017-12/15/c\\_136828885.htm](http://www.nea.gov.cn/2017-12/15/c_136828885.htm)

## 【ベトナム】【土地使用】土地法改定案で外国人の住居使用権取得が可能に

12月20日付『Thoi bao Kinh te』電子版によると、ベトナム天然資源環境省は、現行の2013年土地法の一部改正草案を提案した。このうち、所有権・使用権について規定された同法第5条において、外国人個人の住居所有を可能にし、権利書を発行する規定が盛り込まれた。国会は、土地計画法、林業法、水産法など関連法規改正可決に伴い、土地法についても同省へ見直しの要請をしていた。<sup>11</sup>

## 【ベトナム】【水道事業】水道会社が携帯電話決済サービスを導入

12月27日付『Tuoit Tre Online』は、サイゴン水道総公社（SAWACO）傘下のBen Thanh水道会社が、携帯電話決済サービスを導入すると報じた。アプリ導入により、水道料金の支払いが携帯電話上で可能になる。アプリにはほかにも、水道使用状況、請求額、滞納額などを自分で確認できる機能がついており、利用者が自分で支払い状況を把握したり、水道に不具合が生じた際は今までよりも早く連絡を取ることができる。SAWACOグループ内で行われた、2018年のサービス向上アイデアを募る会議の中で発表されたソリューションの一つで、2018年に導入される予定だ。<sup>12</sup>

---

<sup>11</sup>

<http://vneconomy.vn/de-xuat-sua-luat-dat-dai-de-nguo-i-nuoc-ngoai-duoc-so-huu-nha-tai-viet-nam-20171219221625404.htm>

<sup>12</sup> <https://tuoitre.vn/thanh-toan-tien-nuoc-bang-dien-thoai-di-dong-20171227095159015.htm>